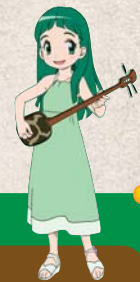


目次

- 2 県政フラッシュ
- 4 **特集1**
第32回 全国豊かな海づくり大会
～美ら海おきなわ大会～
- 6 **特集2**
第41回 沖縄県芸術文化祭
- 8 **特集3**
高校生美ら産フェア
- 10 復活・再生にかける
オキナワスピリッツ ―情熱―
「わらべ唄」
- 12 県の動き1
11月は
児童虐待防止推進月間です。
- 13 県の動き2
第28回 リゅうぎんプレゼンツ
ナイスハートバザールイン沖縄
- 14 情報ひろば お知らせ
- 16 海を通して広がる地域の輪
「東村」



沖縄県広報誌 「美ら島沖縄」について

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用できる施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗、イオンの店舗、モノレール各駅で無料配布しています。

本号とバックナンバーは
県広報課ホームページで
ご覧になれます。

美ら島沖縄 検索

<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

沖縄県知事公室広報課
TEL.098-866-2020

表紙について

守りつなげたい沖縄の自然の息吹

座間味島の海

多くの観光客を惹きつける世界屈指の透明度と美しいサンゴ礁を誇る座間味島の海。しかし、地球温暖化による海水温の上昇でサンゴの白化現象が発生して大きな問題に。自然を守るためにも、一人一人の自然環境への関心が必要です。（写真：はてるまこ）

9月・10月の動き

10/11

うちなー地域づくり大賞受賞団体決定！ 応援団長に琉神マブヤー任命！



仲井眞知事から任命を受け決意を表す
琉神マブヤー

復帰40周年記念事業「うちなー地域づくり大賞」の受賞団体が発表された。応募51団体の中から、大賞には、NPO法人東村観光推進協議会、特別賞には、もとぶ手作り市実行委員会、奨励賞には、国頭村安田区、米須農村再生発見事業世話役会、学生団体学生+（がくせいぷらす）が選ばれた。

発表は、「うちなー地域づくり応援団長」に任命された琉神マブヤーと仲井眞知事が行った。

任命式で仲井眞知事は、「琉神マブヤーの応援で地域が元気になって面白い取組ができる」と期待感を示した。

授賞式は、うちなー地域づくりフェスタと同時開催で、11月4日（日）に那覇市ぶんかテンブス館で行われる。

10/12

第6回沖縄平和賞授賞式 「シャプラニール」に贈賞



「シャプラニール」の簡井事務局長、
中田代表理事（右から）と有馬選考委員会委員長（左端）

アジア太平洋地域の平和の構築・維持に貢献した個人や団体を顕彰する沖縄平和賞の授賞式が名護市の万国津梁館で行われた。

今回は、バングラデシュを拠点に40年にわたって、人々が自立して社会参加するために必要な支援を続けている「シャプラニール＝市民による海外協力の会」が受賞し、

仲井眞知事から賞状と賞牌、副賞が贈られ、有馬選考委員会委員長から選考理由が述べられた。

仲井眞知事は「これまでの功績に対し、敬意を表する。今後も沖縄平和賞が、世界に誇れる県民の財産となるよう努めていく」と述べ、中田代表理事は「沖縄の皆様と絆を深め、その知恵と経験に学ぶ機会を与えていただいたことに、心から感謝申し上げたい」と受賞の喜びを語った。

9/20

日米の有識者と 第一回電子会議を開催



テレビモニター越しに意見交換を行う
仲井眞知事

9月20日、電子会議システムを利用した第一回会議を県庁内で開催した。

会議には米国からジョージ・ワシントン大学のマイク・モチヅキ教授、東京から政策研究大学院大学の道下徳成准教授が参加し、テレビモニター越しに基地問題や安全保障について、仲井眞知事及び県幹部と意見交換を行った。

電子会議システムは、国際関係、安全保障等を専門とする国内外の有識者と、時間や距離に制約されることなく意見交換を行うことを目的に導入しており、会議は今後も効果的なタイミングで開催する予定。

10/5～7

世界エイサー大会2012開催！



グランプリ部門で優勝した
創作芸団レキオスと上原副知事

『世界エイサー大会2012』が10月5日から7日にかけて、奥武山公園内の県立武道館、沖縄セルラースタジアム那覇にて行われ、多くのエイサーファンが42団体による様々なエイサー演舞を楽しんだ。

「創作エイサーコンテスト」では県内外をはじめ、カナダ、インドネシア、台湾からも出場があった。グランプリ部門

では創作芸団レキオス（沖縄県）が優勝し、「世界一」の称号を手に入れた。

また、「伝統エイサー部門」では、県内14の青年会による勇壮な演舞が披露され、フィナーレでは、観客も一緒になってカチャーシーで盛大に大会を締めくくった。

最終日のコンテスト表彰式で主催者代表として登壇した上原副知事は、参加したエイサー団体に感謝するとともに、エイサーの益々の発展を祈念した。

そのほか同大会では、エイサーが気軽に体験できる「ワークショップ」が行われ、5日には出場団体同志の交流を深めるため「前夜祭」も行われた。

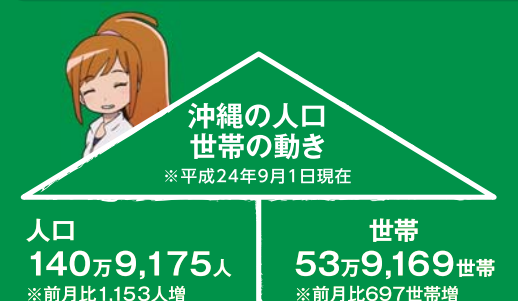
県政日誌

9月

	表敬 駐日フランス大使 クリスチャン・マッセ氏
18日	表敬 カート・トン在日米国大使館首席公使 表敬 メリーランド大学総長 ウィリアム・カーワン氏 台風16号による被害状況の視察
19日	面談 民主党衆議院議員 原口一博氏 平成24年9月議会開会
20日	電子会議 ジョージ・ワシントン大学 教授 マイク・モチヅキ氏
21日	要請 台風16号による被害に係る要請 公明党県民会議・無所属県議 第67回国民体育大会沖縄県選手団結団式
22日	復帰40周年記念 「第77回日本オープンゴルフ選手権競技」記者会見
24日	オスプレイ配備見直しに係る要請 防衛大臣 森本敏氏（東京）
25日	オスプレイ配備見直しに係る要請 内閣官房長官 藤村修氏（東京）
26日	要請 台風16号被害に係る要請 自民党県議
27日	要請 竹富町議会 議長 西大辨高旬氏 ほか

10月

1日	辞令交付式 商工労働部参事監/新採用職員
4日	要請 翁長政俊県議ほか那覇市選出県議団
5日	辞令交付式 沖縄県労働委員会労働者委員 要請 全国椿サミット大会長 高良文雄本部町長 ほか
6日	「世界エイサー大会2012」開会式
7日	「世界エイサー大会2012」 創作エイサーコンテスト表彰式
	オスプレイ配備見直しに係る要請 野田佳彦内閣総理大臣（総理官邸）
9日	沖縄政策に係る関係閣僚との意見交換（総理官邸） 官房長官/外務大臣/財務大臣/防衛大臣/沖縄担当大臣 日本オープンゴルフ選手権競技プロアマ戦・前夜祭
10日	日本オープンゴルフ選手権競技チャンピオンズディナー 表敬 （有）生物資源研究所 所長 根路銘国昭氏 職員の給与等に関する報告及び勧告
11日	うちなー地域づくり応援団長任命式及び 地域づくり大賞発表 要請 台風16号災害に係る早期対策について 本部町議会ほか
12日	第6回沖縄平和賞授賞式
14日	日本オープンゴルフ選手権競技表彰式
15日	表敬 ハワイ沖縄連合会 会長 玉城・サイレス・馨氏 ほか 懇談 沖縄担当大臣 樽床伸二氏





グリーンベルト植栽活動
赤土などの流出を防ぐための
グリーンベルト植栽に励む子
ども達

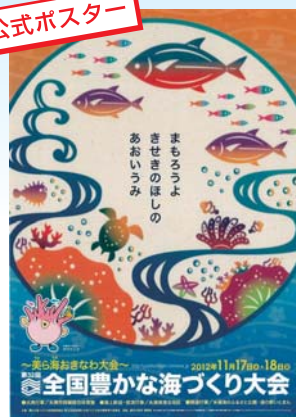


美ら海こども楽校
海岸漂着ゴミについて学ぶ子ども達

沖縄県では、地域の住民、民間団体、学校、市町村などと連携し、サンゴ礁の保全、海岸の清掃、赤土などの流出防止対策、貝や魚の放流、沖縄の未来を担う子ども達に環境

豊かな海を守るための取り組み

公式ポスター



沖縄の伝統的な染め物である紅型風のイラストで沖縄らしさと明るい未来への期待を表現しています。

大会の関連イベントとして、「おきなわ豊かな海づくりフェスタ2012 in 糸満」が、11月17日(土)、18日(日)の2日間、糸満海のふるさと公園、道の駅いとまんで開催されます。

お魚つかみ取りや美ら海移動水族館、県内各地の特産品を集めた試食販売、文化・芸能・環境保全の取り組みの展示、水産物のご当地グルメナンバーワンを決めるフィッシュワングランプリなど親子で楽しめる企画がたくさんあります。

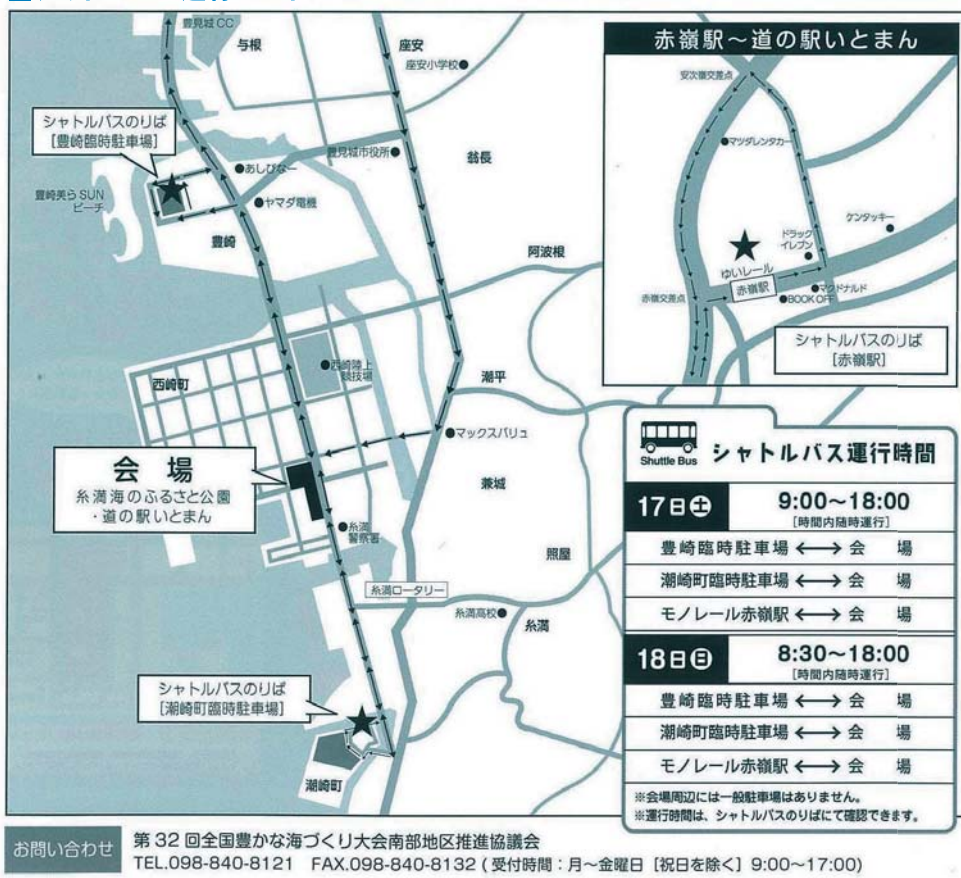
また、ステージでは、式典行事、海上歓迎・放流行事会場からの映像中継、さらにはコンステージショー、琉神マブヤーショー、古武道太鼓集団風之舞による演舞など沖縄の特色ある伝統芸能や多くのアトラクションをお楽しみいただけます。

「おきなわ豊かな海づくりフェスタ2012 in 糸満」に行こう

保全の大切さを学んでもらう「美ら海こども楽校」の開催など、豊かな海を守るための取り組みを行っています。

大会では、これまで培ってきた水産振興や環境保全活動を取り上げ、豊かな海の重要性を沖縄から全国に発信します。

シャトルバス運行ルート



豊かな海づくりフェスタに参加して、沖縄の海や魚、水産業について楽しく学び、沖縄の魅力を満喫しましょう。

※会場周辺には一般駐車場がありません。
※臨時駐車場、潮崎臨時駐車場よりシャトルバスをご利用ください。



お問い合わせ

県水産課全国豊かな海づくり大会推進室

TEL:098-866-2952 FAX:098-866-2679



「まもろうよ、きせきのほしの、あおいうみ」をテーマに第32回全国豊かな海づくり大会「美ら海おきなわ大会」が、11月17日(土)、18日(日)に開催されます。

全国豊かな海づくり大会とは

「全国豊かな海づくり大会」は、水産資源の維持培養と海の環境保全の大切さを広く発信することを目的に、毎年、天皇皇后両陛下のご臨席のもと挙行される国民的行事です。

第32回となる今年は、復帰40周年記念事業として、「海人のまち」糸満市を主会場に開催されます。今大会では、左記の行事が行われます。

①式典行事

糸満市西崎総合体育館において、功績団体の表彰、漁業後継者の決



※イメージ図

意表明、東日本大震災被災地からの現状報告、大会決議などを行います。

②海上歓迎・放流行事

糸満漁港北地区において、漁船の披露、ハーレー・舟競漕による海上歓迎行事を行うとともに、海への感謝の気持ちを養い、次世代へ豊かな海を継承するため、天皇皇后両陛下をはじめ、参加者それぞれが願いを込めて稚魚の放流を行います。



※イメージ図

③絵画・習字優秀作品の展示

大会を記念して、県内の児童、生

開催の意義

沖縄の周辺海域は、温暖な黒潮により育まれた世界有数のサンゴ礁が発達し、沖合ではマブロなどの回遊魚も多く見られます。

また、沖縄の水産物は、琉球王朝時代から重要な交易品として中国などへ輸出され、沖縄独自の伝統や文化の発展にも貢献してきました。しかしながら、近年の漁業を取り巻く環境は、資源の減少、魚価の低迷、漁業就業者の減少に加え、生産の基盤となるサンゴ礁も地球温暖化の影響による白化現象などにより、厳しい状況にあります。

さらに、海は豊かな資源を提供する恵みの源である一方、平成23年3月11日に発生した東日本大震災における大津波など、我々の想像以上の猛威をふるうこともあり、災害への対策が求められています。このような中、本県において「全国豊かな海づくり大会」を開催することは、海の環境保全や災害に強い漁村の形成に対する意識の高揚と併せて、水産業振興を図る上で、大変意義深いものです。

徒を対象に実施した、絵画・習字コンクールの優秀作品を、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。



第41回 沖縄県芸術文化祭

沖縄県では、「平和で安らぎと活力のある文化の薫り高い県づくり」をめざし、県民の皆様が文化芸術活動に自ら参加できる環境づくりを進めています。

沖縄県芸術文化祭は、昭和47年から開催しており、今年で41回目を迎えます。県民の多様な芸術活動を奨励し、広く県民に芸術鑑賞の機会を提供することを目的に毎年開催し、多くの皆様にご来場いただいています。



本展会場の様子

公募展

公募展は、写真・書道・美術の3部門があります。

今年も数多くの作品応募があり、応募作品520点(書道183点、写真257点、美術80点)について各部門ごとに厳正な審査が行われ、入選作品291点(書道141点、写真88点、美術62点)の中から県知事賞、優秀賞、奨励賞、新人賞などの入賞作品が選ばれました。

本展は、11月10日(土)から県立博物館・美術館において開催し、本展開催期間中には、似顔絵体験教室、書道教室、写真教室(作品講評会、モデル撮影会)などの体験教室も同時に開催されます。

また、11月20日(火)から「恩納村博物館」、11月28日(水)から「東村

開催日程

- | 【本展】 | ● 県立博物館・美術館 |
|--------------------------|-----------------|
| 平成24年11月10日(土)～11月18日(日) | 書道・写真・美術 公募展 |
| 【写真選抜展】 | ● 恩納村博物館 |
| 平成24年11月20日(火)～25日(日) | |
| | ● 東村立 山と水の生活博物館 |
| 平成24年11月28日(水)～12月2日(日) | |

入場無料

立山と水の生活博物館」において写真選抜展が開催されます。是非、多くの県民の皆様に足をお運びいただき、高いレベルの芸術文化に触れる機会としていただきたいと思っています。

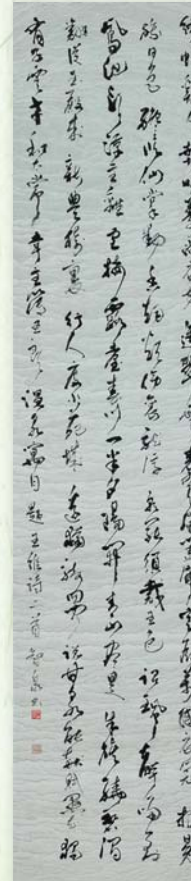


【美術部門】優秀賞
「フェースシマ(南の島)」宮里昌信



【写真部門】優秀賞
「私のしらない過去探索」田中優子

【書道部門】優秀賞「唐詩」石川美智代



【書道部門】沖縄県知事賞「一色」渡慶次 喜代美



【写真部門】沖縄県知事賞「捕獲」山内 弘子



【美術部門】
沖縄県知事賞
「名もなき風の詩」玉那覇 英人

体験教室 ～芸術とふれあう～

本展開催期間中、体験教室を開催します。(県立博物館・美術館1階 特設スペースほか)

美術部門

【似顔絵を描こう!】(随時受付 参加無料)
◇11月11日(日) 12:00～17:00

写真部門

【作品講評会】(参加無料)
◇11月11日(日) 10:00～11:30

【モデル撮影会】(当日先着40名まで 13:00から受付 参加料1,000円 参加者各自カメラ持参のこと。)
◇11月11日(日) 13:30～16:00

書道部門

【書道体験教室】(当日先着20名まで 表示している開始時間毎に受付 参加無料)
芸術祭の審査員から直接指導が受けられます。
◇11月11日(日) 10:00～12:00、13:00～15:00、15:00～17:00
◇11月17日(土) 10:00～12:00、13:00～15:00、15:00～17:00
◇11月18日(日) 10:00～12:00、13:00～15:00、15:00～17:00



写真部門 体験教室の様子



書道部門 体験教室の様子

お問い合わせ

(公財)沖縄県文化振興会 TEL:098-888-3888 FAX:098-888-3891
県文化振興課 TEL:098-866-2768 FAX:098-866-2122



— 県内専門高校・専門学科・特別支援学校生の祭典 —

高校生美ら産フェア

第16回沖縄県産業教育フェア 平成24年11月16日(金)・17日(土) 県立武道館

受け継ぐ伝統 果てなき進化
輝く未知なる可能性

(原画：県立美来工科高校
又吉シャイアン麗海)

(スローガン：県立南部商業高校 糸満美紀)



商業デパート



実習船公開



家庭部門

●家庭部門

被服作品や手芸作品、料理コンテストの写真展示、その他家庭科に関する授業内容に触れることができます。

●情報部門

コンピュータやスマートフォンで利用できるアプリケーションや、生徒デザインのかりゆしウェア、ネクタイなどを展示しています。このフェアのホームページ作成も情報部門で担当しています。

●福祉部門

手話ソング披露や高齢者疑似体験、福祉に関する学習内容を展示します。福祉の専門学科は県内では2校と少ないのですが、これからの福祉を支える人材をめざして頑張っています。



情報部門



福祉部門



マッサージ体験

高校生美ら産フェアって？

沖縄県内の専門高校や、専門学科、特別支援学校などで学ぶ高校生が学校で学んでいる内容や、研究活動、制作した作品を持ち寄り、発表するイベントです。

10部門(農業・工業・商業・水産・家庭・情報・福祉・特別支援・ロボット・茶道)に分かれており、展示発表だけでなく、体験コーナーにて、お客様に触れていただくことができます。

以前は、沖縄県高等学校総合文化祭の中で産業教育部門として開催していましたが、平成9年より沖縄県産業教育フェアとして分離・独立して開催されるようになりました。今回で16回目の開催となりました。2年前から「高校生美ら産フェア」という愛称で、小中高生にも県民の皆様にも親しみを持って



玄関の様子



メインアリーナ



屋外特設会場

もらえるよう取り組んできております。

メインアリーナで展示・体験

各学校紹介や研究内容の紹介、作品の展示、体験コーナーでは小物づくりなどができます。

●農業部門

草花や野菜栽培、畜産、食品加工、造園などの分野を学習しています。



農業部門

県内全農林高校の紹介と一緒に、収穫物や成果物など日頃の学習成果を見ていただきます。

模擬技を披露します。来場者の方も、ロボットの操作体験ができます。

●茶道

沖縄県高等学校文化連盟の茶道専門部による、呈茶のコーナーも用意しております。



茶道

※呈茶：お茶を出すこと。茶道に関連してよく使われる。

キッズビジネスタウン

県内商業高校では今回のフェアにおいて、キッズビジネスタウンを開催すべく準備を進めております。警察・消防・新聞社・ハローワーク・税務署(すべて予定)をはじめ

●工業部門

金属加工品や木材加工品、住宅模型や配管の訓練の成果等を展示します。



工業部門

●商業部門

パソコンを利用したポスターやうちわづくり、商品開発に関する学習内容の紹介などを展示しております。

また、各商業高校が商品仕入れから販売までを行う、商業デパートも好評で、大勢の参観者で賑わいます。

●水産部門

漁などで使用する浮き球のビン玉や釣りで使用するイカ餌木の製作体験、珊瑚礁の写真展示、海の危険生物展示など、盛りだくさんの展示内容です。

実習船の公開や、体験乗船も行います。

その他の催し

ステージでは、ファッションショー・珠算模擬演技・研究発表などが行われます。また屋外特設会場で、バザーによる軽食の提供や学校生産物の即売品も多数用意しております。さらに中高生の進路に関するフォーラムも開催します。

期日・会場

- ・11月16日(金) 11時～16時
- ・11月17日(土) 10時～15時

県立武道館を主会場に行われますが、駐車場は那覇軍港臨時駐車場をご利用ください。お問い合わせは県立南部農林高校へお願いします。

☎098-850-6006

中学生も
必見!!



シッサくん

お問い合わせ

県教育庁県立学校教育課 TEL:098-866-2715 FAX:098-866-2718



復活・再生にかける オキナワンスピリッツ ―情熱―

沖縄に伝わる独自の文化や風習、貴重な工芸品など、これから先も受け継いでいきたい取り組みや沖縄への想いをご紹介します。



ていーだぬやが家一で開催された「ユツカヌヒーいちやりば祭(さい)」わらべ唄コンサート

「わらべ唄」を通して
うちなあぐちや
伝統文化を伝えたい

近年、ライフスタイルの変化によって核家族が増え、うちなあぐちを話せる世代と暮らす子どもたちが減っています。「ていーだぬふぁ童唄会」主宰の宮城葉子さんは、うちなあぐちを話せる人の減少に危機感を感じ、約30年前からわらべ唄を通して子どもたちにうちなあぐちと沖縄の歴史を伝えようと普及活動をはじめました。

「沖縄に生まれてうちなあぐちを話せないのは寂しいこと。子どもたちに歴史や文化を含む、沖縄の真の姿」を伝え、うちなーんちゅとしての誇りを感じて羽ばたいて欲しい」と宮城さん。1991年には「ていーだぬふぁ童唄会」を立ち上げ、自宅を開放して活動を行ってきましたが、2006年に念願の沖縄文化の発信拠点となる古民家「ていーだぬやが家(や)」を



「ていーだぬふぁ童唄会」、わらべ唄普及研究会「うぶっちゅぬ会」主宰の宮城葉子さん

当時の風習や社会背景、
心情が伝わる「わらべ唄」

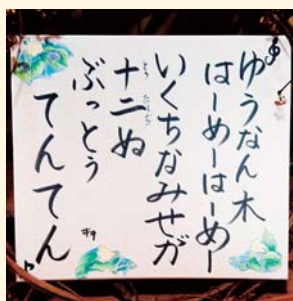
沖縄のわらべ唄は、子どもたちが木登りや、川・田んぼで遊ぶ中で自然に生まれた遊び唄をはじめ、雨や虹などの気象・天体の唄や手まり唄、蛸やカマキリなどの昆虫、家畜などが題材の動物わらべ唄、外国軍艦の入港や薩摩支配下の状況を唄った風刺唄、鬼ムーチーや旧正行事の祭事唄など、実にさまざま。中には人頭税の辛さや貧困を唄ったものもあり、歴史的背景を唄っているのが他府県のものとは異なる大きな特徴といえます。



活動の拠点となっているうるま市田場の古民家「ていーだぬやが家(や)」

「わらべ唄から当時の文化や歴史、社会背景、伝統行事や風習、人々の心情までいろいろなお話が伝えられる」と宮城さん。またカボチャひとつ取っても、具志川では「チンクワ」で金武町では「スンブ」というように、その歌詞も県内各地・離島などで異なり、地域性が如実に表れます。

「単語だけでうちなあぐちを教えようとしても限界がある。わらべ唄遊びにすることで子どもたちが言葉を覚えやすく理解しやすい。唄遊びが自然と身体になじみ、児童文化の教材になっていきました」とこれまでの活動を振り返ります。



宮城さんも幼い頃に唄った、ゾウムシをおばあさんに例えた具志川天願のわらべ唄「ゆうなんぎーハーメー」の歌詞

広がりを見せはじめる
地道な活動

小中学校でうちなあぐちを教える退職者ボランティアの「わらべ唄や民話をもっと学びたい」との要望に応え、宮城さんは4年前に大人のためのわらべ唄普及研究会



学んだわらべ唄やしまくとうばを子どもたちに教える「うぶっちゅぬ会」メンバー



かわいい動作を交えてわらべ唄を披露する「ていーだぬふぁ童唄会」の子どもたち



宮城さんが天願小学校の子どもたちに行ったわらべ唄と民話の放課後学級の様子



約30年前に具志川市(現うるま市)教育委員会が発行した民話集「きじむなあふるさとの昔ばなし」

「ていーだぬふぁ童唄会」では、今では保育士として教えるを広めたり、わが子にわらべ唄や民話を教えている卒業生もいるそうです。「30年続けてきた沖縄わらべ唄文化の継承・普及が少しずつ実を結びはじめています」。継続は力なり―その言葉の重みを改めて感じました。

今後の展望

宮城さんは現在、30年間の活動の集大成として、わらべ唄全集や旧具志川市(現うるま市)教育委員会が発行した民話集のうちなあぐち訳と紙芝居化、うちなあぐちでの朗読CDとわらべ唄全集の制作に取り組んでいます。この取り組みは県の「平成24年度沖縄文化活性化・創造発信支援事業」にも応募しており、「採用されれば、優れた沖縄の児童文化教材として保育園や学校現場などで使え、より一層、沖縄文化の継承・普及が図れる」と熱く語っていました。



2003年に制作したわらべ唄のCDと影響を受けた仲吉史子さんのわらべ唄のCD





「ナイスハートバザールとは？」
「ナイスハートバザール」は、働きたいと願う障がいのある方々の賃金アップと販路の拡張などによる事業振興を図るため、就労支援事業所等の製品を対象に展示即売を行う事業として、全国各地で開催されています。沖縄県では昭和61年から毎年開催されており、今年で28回目を迎えます。

現在、沖縄県には190を超える就労支援事業所等があり、これらの事業所では障害のある方々の自立を支援するために、様々な事業に取り組んでいます。
大規模なクリーニング業・印刷業を行っている事業所もあれば、企業の仕事を引き受けて部品加工や細かい手作業を得意としている

事業所もあります。また縫製、伝統工芸品、織物、陶磁器の制作、木工品や家具の製造、有機野菜の栽培やジャム・漬物・パン・クッキー・焼き菓子などの食品製造及びそれらを販売する店舗運営を行っている事業所もあります。

ハートがあつたかくなる
二日間です！

当日は41箇所の就労支援事業所等が展示即売会を実施し、利用者の皆さんが自分たちで作った商品（農産品及び加工品、花卉園芸、陶器、木工品、縫製品、民芸品、小物、食品など）を実際に販売します。一つ一つ丹精こめて作られた多様な製品の数々を、ぜひ手に取ってご覧ください。皆様のご来場を心からお待ちしています！

日時：11月24日（土）午後12時～午後7時（屋外は午後6時まで）
11月25日（日）午前10時～午後7時（屋外は午後6時まで）
場所：イオン南風原ショッピングセンター
問い合わせ：一般財団法人沖縄県セルプセンター
（098-88215663）

第28回 りゅうぎんプレゼンツ ナイスハートバザールイン沖縄



お問い合わせ 県障害保健福祉課 TEL:098-866-2190 FAX:098-866-6916

11月は児童虐待防止推進月間です。

～気づくのはあなたと地域の心の目～

児童虐待は、全国的に増加傾向にあり、大きな社会問題となっています。虐待は子どもに対する重大な権利侵害であり、その防止にむけて社会全体で早急に取り組む必要があります。そのため、11月を児童虐待防止推進月間と定め、集中的に虐待防止のための取組を行っています。

児童虐待とは？

児童虐待の防止等に関する法律等で定める「児童虐待」とは、保護



（例）殴る、蹴る、首を絞める、激しく揺さぶる、熱湯をかける、溺れさせる、タバコの火を押す、逆さ吊りにする、投げ落とす等



（例）児童への淫行、性的行為の強要、性器や性交を見せる、児童ポルノの被写体にする等



（例）乳幼児や児童を家に残したまま度々外出する、乳幼児を車中に放置したままにする、適切な食事を与えない、児童が学校に登校する意思があっても登校させない、保護者以外の同居人による虐待を放置する等



（例）言葉による脅かし、他の兄弟姉妹との著しく差別した扱い、児童を無視したり拒否的な態度を示す、児童の前で家族などに暴力を繰り返す等

児童虐待の現状

平成23年中、県警における児童虐待検挙は2件、相談受理件数は128件となっています。児童虐待の相談の内訳は、身体的虐待63件、性的虐待4件、ネグレクト

44件、心理的虐待17件となっています。

児童虐待を防ぐために

★地域住民の方は…
児童虐待の防止等に関する法律では、児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、児童相談所等に通告しなければならぬこととなっています。通告とは児童相談所等に「連絡」することです。



通告した方の情報（氏名・住所など）や内容が漏れることはありません。児童に対する暴行などの直接的な確信がなくても家庭の様子などから虐待が疑われる場合も通告することとなっています。

現に虐待は行われ、児童の生命身体に危害が加えられるなど緊急の場合は「110番通報」し、悲惨な事件が発生する前の通報や通告で子どもたちを虐待から救いましょう。

★児童は…
家族の誰かに嫌なことを言われたり、嫌なことをされたり、お腹がすいても食べるものがなかったり、たたかれたり殴られたりして痛い思いをしていたら、ひとりで悩まず、学校や市町村の窓口や児童相談所、警察などに相談してください。

児童虐待の相談窓口は？

関係機関	窓口	電話番号	相談時間
警察	警察総合相談	098-863-9110	24時間対応可能
	各警察署安全相談	各警察署の代表番号	24時間対応可能
	匿名通報ダイヤル	0120-924-839	09:30～18:15（平日のみ）
	少年サポートセンター（ヤングテレフォンコーナー）	0120-276-556	09:30～18:15（平日のみ）
児童相談所	中央児童相談所	098-886-2900	24時間対応可能
	コザ児童相談所	098-937-0859	08:30～17:15（平日のみ）

★保護者は…
自分だけがうまく子育てできていない、助けてくれる人がいない、子どもの行動が気に入らない、この子がいなかったら「など」と思ってしまう、自分を追い詰めたりと子育てについて不安や悩みを抱えていたら、ひとりで悩まず、関係機関の相談窓口にご相談しアドバイスを受けましょう。



お問い合わせ

警察本部生活安全部少年課少年サポートセンター
TEL:098-862-0110

ヤングテレフォンコーナー（相談電話）
TEL:0120-276-556



2012年11月

情報ひろば

試験

沖縄県看護師試験

- 日時 平成25年2月15日(金)
- 受験願書請求・提出先 県医務課
- 受験願書請求期間 10月22日(月)～12月21日(金)(21日消印有効)
- 受験願書受付期間 平成25年1月4日(金)～11日(金)(11日消印有効)
- 問合せ 県医務課 ☎098-866-2169

イベント

沖縄ウッドフェア

県産材の良さを活かし、県内の職人が丹精込めて作り上げた木製品の展示販売等を行います。親子木工教室や苗木の

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
November	4	5	6	7	8	10
	11	12	13	14	15	17
	18	19	20	21	22	24
	25	26	27	28	29	30
日	月	火	水	木	金	土
December	2	3	4	5	6	8
	9	10	11	12	13	15
	16	17	18	19	20	22
	23	24	25	26	27	29

- 内容 各離島の特産品展示販売会や伝統芸能公演、イベントなど
- 問合せ 離島フェア開催実行委員会事務局 ☎098-963-8191

人権啓発公演会

男女の人権について笑いと一緒に考える人権啓発公演会「男らしく・女らしく!」って何だば!」を開催します。

- 日時 11月24日(土) 午後2時(1時30分開場)
- 場所 沖縄市民会館大ホール ※手話通訳有り
- 内容 「あざじやび商店」による演劇とトークセッション
- 料金 入場無料
- 問合せ 県平和・男女共同参画課 ☎098-866-2500

精神保健福祉普及大会

11月は精神保健福祉普及月間です。不安定な時代をいかに生きるか」をテーマに特別講演、座談会を行います。

- 日時 11月7日(水)午後1時～5時
- 場所 琉球新報ホール(那覇市泉崎)
- 講師 島園進(東京大学大学院教授)
- 問合せ 県障害保健福祉課 ☎098-866-2190

募集

共済加入者募集

【小規模企業共済】小規模企業の個人事業主、会社等の役員が廃業又は退職した場合に共済金等

保育のしごと合同面接会

- 日時 11月3日(土)、23日(金) 午後1時30分～4時
- 場所 沖縄県総合福祉センター 東棟1Fゆいホール
- 対象者 保育士又は来年3月に養成校新卒予定者で保育所等に就職希望の方
- 問合せ 福祉人材研修センター ☎098-882-5703 県青少年児童家庭課 ☎098-866-2174

アーツマネジメント講座

- 日時 11月10日(土) 午前10時～午後12時30分
- 場所 県立芸術大学首里当蔵キャンパス奏楽堂
- 講師 東儀秀樹氏(雅楽師)
- 備考 どなたでも無料で受講可
- 問合せ 県文化振興課 ☎098-866-2768

沖縄県立芸術大学附属研究所 ☎098-882-5040

性暴力被害電話相談(通話料無料)

- 性暴力被害にあった女性と子どものための無料電話相談を開設します。
- 開設期間 11月の1カ月間
- 受付時間 火・金曜日 午後7時～10時 土・日曜日 午後1時～6時
- 電話番号 ☎0120-688-0015 (フリーダイヤルコールレコ)
- 問合せ 強姦救援センター・沖縄(REICO) ☎098-890-6110 県平和・男女共同参画課 ☎098-866-2500

Sマーク普及登録促進月間

11月は標準営業約款普及登録促進月間です。生活衛生営業者(フリーニング、めん類飲食、一般飲食、理容、美容店が

犯罪被害者週間

- 11月25日から12月1日は「犯罪被害者週間」です。県警察では、社会全体で被害者を支え、被害者も加害者も出さない街づくりに向けた施策を推進中です。事件・事故の被害者等や、ご家族の方を支援する活動にご協力ください。
- 問合せ 県警察本部広報相談課被害者支援室 ☎098-862-0110 民間被害者支援団体 (公)沖縄被害者支援ゆいセンター ☎098-866-17830

各施設行事予定表

県平和祈念資料館

- ☆休館日:年末年始(12月29日～1月3日) ☎098-997-3844
- ◆第13回 特別企画展「沖縄人(ウチナーンチュ)が見た戦世(イクサユ)とアメリカ世(ユー)」 期間:10月10日(水)～12月9日(日) 場所:1階 企画展示室 備考:入場無料

県立博物館・美術館

- ☆休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日) ☎098-941-8200
- ◆第41回 沖縄県芸術文化祭 期間:11月10日(土)～11月18日(日) 場所:企画展示室 内容:美術部門・写真部門・書道部門入賞作品等の展示、体験教室 問合せ:沖縄県文化振興会 TEL:098-888-3888

県立埋蔵文化財センター

- ☆休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日) ☆すべて無料、琉大病院となり ☎098-835-8751

- ◆企画展「国指定重要文化財公開 首里城京の内跡出土品展」 期間:11月3日(土)～平成25年5月5日(日) ギャラリートーク(展示品解説会) 日時:11月18日(日)午前の部 10時30分、午後の部 3時
- ◆県民カレッジ主催講座「沖縄のグスク群と世界遺産」 日時:11月10日(土) 午後2時(1時30分開場) 講師:富真嗣一(元沖縄県立博物館館長) 場所:研修室 備考:生涯学習推進センターへ要予約 問合せ:生涯学習推進センター ☎098-864-0474

県広報課からのお知らせ

11月 放送予定

- 3日(土) / 介護保険制度について
- 10日(土) / 高校生美ら産フェアについて
- 17日(土) / 防風林整備について
- 24日(土) / 沖縄科学技術大学院大学について

テレビ放送時間 / OTV ☎9:55～10:00 QAB ☎15:55～16:00

詳しくはホームページへ 沖縄県 検索 トップページ 広報・広聴について 広報誌、テレビ番組、県政出前講座等

県広報課 ☎900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 kouhou@pref.okinawa.lg.jp

ラジオ 県民室

お昼のひととき、県が実施する行事や募集のお知らせなどを行っています。
放送時間／毎週月曜日～金曜日
ラジオ沖縄 (864KHz) 11:50～11:55
RBCiラジオ (738KHz) 11:55～12:00
F M 沖縄 (87.3MHz) 12:55～13:00

県政出前講座 実施中

現在、92種類の講座を提供中！
県の職員が講師として出向きます。
詳しくはホームページをご覧ください。

お知らせ

が支払われます。

【経営セーフティ共済】

取引先が倒産し、売掛金債権等が回収困難になった場合に共済金の貸付けが受けられます。

- 申込先 お近くの商工会や商工会議所等
- 問合せ 県経営金融課 ☎098-866-2343

C型肝炎特措法の給付金

出産や手術における大量出血等の際に、特定の血液製剤を投与されたことによつて、C型肝炎ウイルスに感染された方に、給付金を支給する仕組みがあります。

●請求手続期限

平成30年1月15日までに延長されました。

●問合せ

- 厚生労働省相談窓口 ☎0120-509-0002

労働相談

給料や残業代を払ってくれない。突然、解雇を言い渡された。労使交渉の対応の仕方がわからない。労働保険や就業規則についてわからないなど働く上で困っている方、経営者の方。労使間のトラブルで悩んだらご相談ください。

●電話番号

- 県労政・女性就業センター労働相談窓 ☎0120-610-223
- 問合せ 県労政・女性就業センター ☎098-941-4750



圧倒的な自然を感じる場所ね!

今に伝える! ここだけのハナシ

国の天然記念物、慶佐次湾のヒルギ林



生い茂るマングローブ(ヒルギ林)を間近で観察できると人気のカヌー体験



遊歩道からはヒルギ林の観察ができる



シオマネキ。片方のハサミが大きくなるのはオスのカヌー体験

海水と淡水が混ざり合う、東村の慶佐次川河口部。長さ約1キロメートル、幅約200メートル、面積では約10ヘクタール、沖縄本島を代表するマングローブが広がる東村の名所です。国の天然記念物の指定を受けています。ヤエヤマヒルギの分布はここが北限。干潟の生き物も多く生息し、「小さい頃はガサミと呼ばれるカニを獲ったこともある」と話すのは同村役場の又吉さん。また慶佐次川は、昔は洗濯など生活を支える場所でもあったそうです。1999年頃から、圧倒的な自然環境を活かしたエコツアーが盛んになり、年間約10万人がここを訪れています。

漁業と観光業の融合をめざした東村のブルーツーリズムは、漁業従事者の生活と心を豊かに育み、今年、県の地域観光資源創出支援事業の採択を受けて、新たな一歩を踏み出しました。同村観光推進協議会や行政を中心にシユノーク

持続可能なプログラム作り

この釣体験は、田舎に住む親せきのおじさんに釣りに連れて行ってもらったという、素朴なふれあいのイメージ」と笑顔で話すのは、NPO法人東村観光推進協議会の大嶺亮一さん。釣り針への餌つけから釣り上げ、港に戻ってから魚のさばき方や調理まで漁師に教えてもらいます。

同体験ではほかに、「小さすぎる魚は海に返そうね、食べる分だけ釣ろうねなど、海洋資源の保全につながる話も提供している」と語るのは、同協議会の佐藤勝政さん。普段は口下手で表情の硬い漁師の皆さんですが、自らの仕事の技や考え方を子どもたちに伝えるこの体験プログラムでは、終始、笑みがこぼれているそうです。



ブルーツーリズムについて語る、左から大嶺さん、佐藤さん、又吉さん

リングなどのモニターングツアーやツアガイドの資質向上のほか、環境に負荷をかけないプログラムを検証していきます。

同村役場企画観光課の又吉一樹さんは、「地元の豊かなコミュニティを維持するためにも、若い人の雇用につながる観光業はますます重要です」と新しいツアープログラム開発へむけた言葉にも力が入ります。

「ブルーツーリズムの充実には、地元の海がどれだけ美しいか、貴重であるかを知ることが大事だと思う。そのためには、若い人は一度、県外や他市町村へ出てからリターンして戻ってきてほしい」と大嶺さん。実は大嶺さんも県外に出て、東村の海の豊かさに気づいた一人です。

環境が資源、人が資源。持続可能なブルーツーリズムへ向けた、東村の挑戦は続きます。

編集後記

読書の秋、運動の秋、食欲の秋、芸術の秋・・・秋はなんでもできる気持ちになれる季節ですね。

最近の私は、季節を感じる余裕も持てず、季節を楽しむ時間も作らずに過ごしているな〜と少しもったいない気分になっています。

まずはすぐに実行できる(?)食欲の秋に走ってみようかな。

11月は高校生美ら産フェア、海づくりフェスタ、芸術文化祭、離島フェアなどいろんなイベントがあるので、皆さんもあらゆる秋を楽しみましょう!(YuA)

那覇大綱挽まつりに行ってきました。今年はミッキー・ミニーマウスや、ミス・インターナショナルの方がパレードに参加することでした。残念ながらタイミングを逃してミスの方々は見えませんでしたが、その分、祭り会場で飲み食いして、世界エイサー大会やライブ演奏などなど楽しんで帰りました。私もミス・インターナショナルになりたいです。(Mango)

平成24年11月1日発行 第36巻11号通巻446号

沖縄県広報誌 **美ら島沖縄**

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020

アンケート

「美ら島沖縄」の感想をお聞かせください。

▶ パソコンはこちら **美ら島沖縄** **検索**

▶ 携帯電話は、右のQRコードから

地域のことは地域みんなの手で!!

海を通して 広がる地域の輪

釣った魚を誇らしげに掲げる子どもたち。真ん中はブルーツーリズム部会長の大城肇さん

漁業と観光業の融合で 地域おこしを

沖縄本島北部の東海岸に位置する東村は、「花と水とパインの村」をキャッチフレーズに掲げる自然豊かな地域です。農業や漁業を主な産業としてきた同村では、長い間、若年層の定着を大きな課題として抱えていました。

雇用が少ないから村外へ若者が出ていくというこの現実をなんとか打開しようと、行政と地域が一緒になって「自然環境資源を活かした地域おこし」を模索。1999年、同村でのエコツーリズムがスタートしました。国の天然記念物指定を受ける、慶佐次川河口部に広がるマングローブ(ヒルギ林)を観察するカヌー体験などのさまざまな体験プログラムを実施し、2011年度には年間約4万人を県内外から集めています。

ブルーツーリズムは、このエコツーリズムのスタートから1年後、漁業と観光業を融合させた観光プ

「東村」



豊かな海の恵みを活用する「ブルーツーリズム」は、漁業と観光業の融合による地域おこしをめざしています。

プログラムとしてはじまりました。同プログラムは、地域の漁師や同村商工会のリードのもとに設立された東村ブルーツーリズム協会(現NPO法人東村観光推進協議会)ブルーツーリズム部会によって、実施されています。



漁師から魚のさばき方を教えてもらう



初めて船に乗る生徒も少なくありません



食べる分だけ釣ることを学ぶ



イシミーバイ釣りに出発!



獲れたての魚の味は格別



餌のつけ方を教えてもらう

海洋資源の 保全につなげて

東村のブルーツーリズムで現在実施されているプログラムは「イシミーバイ釣り体験」。同村平良湾での釣りと調理までを体験するプログラムです。参加者は県内小学

持続可能なプログラム作りに取り組んでいるよ